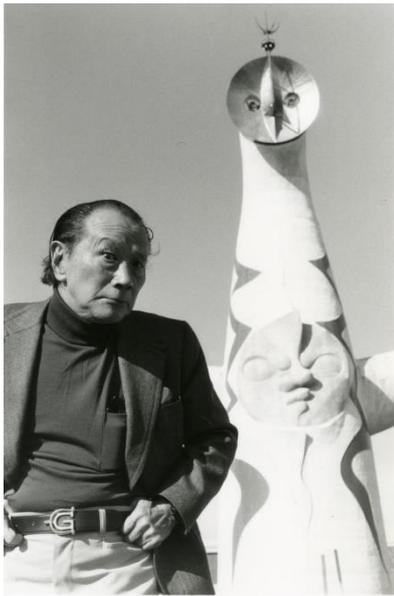


常設展「生誕 110 周年 ベラボーな岡本太郎」

2021年10月15日(金)～2022年1月16日(日)

展覧会概要

岡本太郎の代表作の一つとして知られる《太陽の塔》は、1970年に開催された日本万国博覧会(大阪万博)のテーマ館として作られました。大阪万博のテーマ「人類の進歩と調和」のもと、会場には近未来的なパビリオンが配置され、世界各国の新技术や文化が集結。一方で、万博のテーマ館プロデューサーに就任した太郎は、このテーマに疑問を呈し「ベラボーなものを作る」と宣言します。そしてモダニズムとは正反対の、太古の昔からそこに生えていたような“ベラボーな”塔を打ち立てるのです。



太陽の塔と岡本太郎

《太陽の塔》のみならず、太郎の生み出した作品と活動の幅そのものもまさに“ベラボーな”ものでした。太郎は画家として出発しますが、絵画や彫刻のみならず、日用品や家具、建築に至るまで、ひとつの枠にとどまらない制作活動を行います。また作品制作のかたわら、積極的にテレビやCMなどのメディアにも出演し、言葉を発信し続けました。太郎の生み出した作品は、街中のパブリックアートや、日用品のデザイン、作品をモチーフにしたグッズなどを通して、今もお私たちの身近に存在し続けています。

本展では、岡本太郎生誕 110 周年に際し、《太陽の塔》をはじめとする太郎の“ベラボーな”作品とその軌跡をご紹介します。

開催概要

会場：川崎市岡本太郎美術館 常設展示室

会期：2021年10月15日(金)～2022年1月16日(日)

主催：川崎市岡本太郎美術館

開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日：月曜日(1月10日を除く)、11月4日(木)、11月24日(水)、
12月29日(水)～1月3日(月)、1月11日(火)

観覧料：10月15日(金)～10月22日(金) 常設展のみ開催

一般 500(400)円、高・大学生・65歳以上 300(240)円

10月23日(土)～2022年1月16日(日) 企画展とのセット料金

一般 1,000(800)円、高・大学生・65歳以上 800(640)円

※中学生以下は無料

※()内は20名以上の団体料金

同時開催：企画展「戦後デザイン運動の原点ーデザインコミッティーの人々とその軌跡」

※開催期間等、変更になる場合がございます。最新の情報は当館ホームページにてお知らせいたします。



《太陽の塔》1970年 FRP

みどころ

●《太陽の塔》グッズ、資料が大集合！
大阪万博当時の写真や資料から《太陽の塔》を紹介するほか、《太陽の塔》から派生して作られたグッズも展示し、作品にとどまらず、様々なアイテムとして親しまれる“ベラボー”な《太陽の塔》をご紹介します。



《太陽の塔 ぬいぐるみ だるま風》2017年



《超合金 太陽の塔ロボ》2014年

●生誕 110 周年を祝し、《明日の神話》《傷ましき腕》などの油彩作品や、彫刻作品、日用品や家具まで、岡本太郎の幅広いジャンルの作品を展示！

展示を通して岡本太郎の“ベラボー”な活動の軌跡をお楽しみください。



《明日の神話》(部分)1968 油彩・キャンバス



《傷ましき腕》1936(再制作 1949) 油彩・キャンバス

●本展は写真撮影 OK！(動画撮影、フラッシュ撮影、三脚・自撮り棒・ジンバル等の器材の使用は不可)

主な出品作品 (予定)

- ・油彩《明日の神話》《傷ましき腕》《重工業》他
- ・彫刻《太陽の塔》《ノン》他
- ・インダストリアルデザイン《まどろみ》他
- ・グッズ《太陽の塔 ぬいぐるみ だるま風》《超合金 太陽の塔ロボ》他
- ・その他《万国博・テーマの塔建設工事 原設計縮小図》《太陽の塔内部写真》他



《ノン》1970年 FRP



《重工業》1949年 油彩・キャンバス



《まどろみ》1967年 FRP、布、金属

関連イベント

「蘇る VR 太陽の塔 ver.4」

日本工業大学の学生により、大阪万博当時の《太陽の塔》をVR空間によみがえらせるプロジェクトを実施しています。4年目となる今回は、バーチャルな世界で《太陽の塔》の内外を自由に歩いてめぐることができます！



※2020年度に上映したVR映像

日程:2021年11月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)(予定)

★期間中の土日はゴーグルを装着してVR体験ができます！

★常設展会期中は、常設展示室内でVR映像の上映を行います。

場所:岡本太郎美術館 ガイダンスホール(VR体験)、常設展示室(映像上映)

協力:日本工業大学

※感染症拡大状況により、VRゴーグルの使用を取りやめ、映像上映のみ実施する場合があります。

※詳細はホームページをご覧ください。川崎市岡本太郎美術館ホームページ <https://www.taromuseum.jp>

※イベントの開催内容が変更となる場合がございます。

詳細は当館ホームページで随時お知らせいたします。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当:佐藤(明) 広報担当:森近(pr@taromuseum.jp)

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柘形 7-1-5 生田緑地内

TEL:044-900-9898 / FAX:044-900-9966